



2014年1月 第382号

スズキ労連

2014年 新春号

スズキ関連労働組合連合会 静岡県浜松市南区増楽町20 電話(053)447-3079 発行人 古川正明 編集人 渡部 豪

謹んで新春をお祝い申しあげます



新しい年と労働運動 スズキ労連 会長 古川 正明



新年明けましておめでとうございます。昨年一年間のご協力に心から感謝申し上げますとともに、本年が平和で明るい年となりますようお祈り申し上げます。昨年の2013年7月21日投開票の第23回参議院議員選挙におきまして、組合員の皆さまとご家族の皆さまに多大なるご支援を頂き、同じ自動車産業で働く仲間である「いそぎ哲史」を国政に送り出す事が出来ました。これまでの活動へのご協力・ご支援にあらためて感謝申し上げます。

一昨年の2012年12月16日に行われました第46回衆議院議員選挙では、私たちの支援する民主党が231議席から57議席と大惨敗し、現在の政権与党は118議席から294議席となりました。

参議院選挙以降、圧倒的に数的有利に立った政権与党は、庶民に大きな負担を強いる法案ばかりを提出しています。消費税増税に伴う自動車取得税の段階的廃止の穴埋めのために軽自動車税を引き上げたり、サラリーマン減税はしないのに大企業の実費を50%まで非課税にしたり、国土強靱化の名の下に民主党政権時とは全く逆の「人からコンクリートへ」の政策を進め、そのツケを子供たちに回しています。「社会保障充実のための消費税アップは仕方なし」という国民の声を背景に、消費税の増税を決めましたが、これらは民主党政権時に目指した「社会保障と税の一体改革」とはほど遠いものです。「いそぎ哲史」議員が政権与党に糾弾するも聞き入れられず、進展は見られません。

労働法においても、労働の規制緩和という耳触りのよい言葉を使い、政権与党は労働の改悪を断行しようとしています。以前問題となった派遣切りを合法化するばかりでなく、正社員の解雇の自由度を大幅に緩和した法案です。

我々の子供たちには非常に厳しい制度となります。国民はもっと怒ってよいと思いますし、何もしない議員も多すぎると思います。今年も国会では様々な法案や予算が決められていきます。私たち国民も「議員に任せきり」ではなく、自国の国政をしっかりと見て、議員と共に考えていくことが大切です。そして子供たちの世代にツケを回さない政治を皆で作っていきましょう。

ものづくり立国の日本において、製造業の企業間競争は国際競争となり、国の制度(税制や産業政策など)の重要性が増してきています。

労働組合は、「人間の尊厳が尊重される福祉社会建設」を目指し、一方で「社会正義を基調とし自由、平等、公平な社会づくり」を合言葉に、今日まで労働運動を継続しています。

本年もスズキ労連加盟の組合員一人ひとりが生き活きと働きながら、明るい将来を抱き、夢を持ちチャレンジしていける社会を実現するため、ともにがんばりましょう!

山口章県議会議員、徳光卓也市議会議員の活躍を期待します。

Table listing organizational roles and names: 会長 古川正明, 副会長 根木一暢, 事務局長 堀順一, 中央執行委員 渡部豪, etc.

スズキ関連労働組合連合会 スズキ労連・役員一同



参議院議員 直嶋 正行

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年一年、夏の参院選を始め大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。

高支持率にも支えられて、安倍政権はいささか暴走気味です。3ヶ月もの空白の挙句ようやく開いた臨時国会では、特定秘密保護法案を多くの国民が反対の声を挙げる中、強行採決を繰り返し強引に成立させました。まさに「数の横暴=強権政治」と言わざるを得ません。当面、是々非々の姿勢で巨大与党に毅然と対峙し、その横暴を止めることが民主党の責務と受け止めています。皆様の代表としてしっかり取り組んで参る決意です。

最後に、本年のご多幸・ご発展を祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。



参議院議員 いそざき 哲史

これまでの諸活動における甚大なご支援に対し、改めて感謝申し上げます。

昨年は、本会議の代表質問、財政金融委員会の質疑に立ちました。自動車関係諸税については、政府の一部から出ている不合理的な税制案を阻止し、自動車ユーザーが納得できる税制に改善していけるよう、今後も粘り強く主張していきますので、引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

本年が皆様にとってより良い年になりますことを心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。



衆議院議員 古本 伸一郎

あけましておめでとうございます。下野して2度目の予算編成、車体課税のてん末を見ても、与党でなければと思います。同時に、与党の3年を再評価しなければ次につながらないと感じます。自動車総連のみならず歯がゆいと思います。でも、厚かましくの政策や政治行動に出て、元気を出すべきです。仲間を組織化し、規律し、物語を説明し、一つにまとめる力があるからです。自民党が下野しても、支援団体は見捨てませんでした。寧ろ権力を知る人々は、政権奪還と鉢巻をしめたそうです。本年も宜しくお願いします。

「グローバル」に走り回ります

静岡県議会議員 田口 章



謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年のみなさまのご多幸をご祈念申し上げます。

昨年の静岡県は「富士山の世界遺産登録」という明るいニュースに沸きました。今年もワクワクするような話題に満ちた年になるといいですね。

さて今年「浜名湖花博」から10年。これを記念して当時の会場だった「浜名湖ガーデンパーク」に、新たに「はままつフラワーパーク」を加え、3月下旬から6月中旬にかけて「浜名湖花博2014」を開催します。静岡県は700品目を超える花を生産する日本一の「花の都」。花々に囲まれたステキな春をお楽しみいただければと思います。

一方、昨年の政治を振り返ると、暗澹たる想いにかかられます。年末の国会審議では圧倒的多数の力による政策決定が行われました。「ねじれの解消」とは「独裁」のことだったのでしょか。

また自動車関係諸税の見直しについても、厳しい方向が示されています。「税金を使う立場」の政治から「税金を納める立場」の政治に変えていく必要があるのではないでしょか。

私たちはこのことを忘れずに「二大政党」による善政競争を、引き続き求めていくべきと思います。

私の今年の目標は「グローバル」。これは「グローバル(世界的な)」と「ローカル(地方の)」を組み合わせた造語です。グローバル化が進む中、ヒト・モノ・カネ・情報が世界規模で動いています。地方自治においても、地域に軸足を置きつつ、世界を見すえて地域を作っていくことが求められています。

今年も元気いっぱい走り回ります。ご支援よろしくお願い致します。

今年も、皆さまと同じ目線で

浜松市議会議員 徳光卓也



皆さま、良いお年をお迎えでしょうか。

この「情報新年号」の原稿依頼が来てから、昨年の年頭挨拶を読み返してみました。昨年の表題は「皆さまと同じ目線で」でした。その内容はというと、今の気持ちと同じで、こんな事を書いていました。

「例えば、市役所は「方針」や「計画」の多いところ。基本方針、総合計画、戦略計画、ビジョン等々。それらは、「方針だから」「計画だから」といわれたらそれまでですが、記載内容も具体性に乏しく、そして「いつまでに」という時間軸も曖昧です。行政は「方針」や「計画」を作ることが仕事のように見えて仕方がありません。市民目線ではなく行政目線となっていると感じるのです。」

この思いは、昨年11月議会で私が行った代表質問の一つの項目へと発展しました。代表質問では、浜松市の個別計画が89件と多すぎることを指摘するとともに、計画書はあるが報告書がないことに触れ「私には、計画を作ることが仕事となっているように思えます。」と質問の中で述べました。

まさに、昨年の年頭挨拶の1フレーズですよ。

議会には「議会目線」、行政には「行政目線」が存在していると感じることがあります。それらは、議会や行政の中では通用しますが、時には市民感覚とはかけ離れています。私は、今年も「皆さまと同じ目線」すなわち「市民目線」で活動してまいります。本年もどうぞよろしくお願い致します。